

# 法 情 報

基本を知れば難しくない。

## 行政資料(白書・統計)

政府や各省庁、地方自治体による政策に関する資料や、統計は原則インターネットで公開されます。古いものは一部甲南大学図書館にもあります。公文書館や国立国会図書館、都道府県立図書館に保存されており、電子化されて公開されているものもあります。

### ■ 白書

白書とは、政府や各省庁が所管の行政活動の現状、問題、対策、将来の展望などを国民に報告するための資料であり、社会問題の現状を掴める基本的な資料です。

たとえば、厚生労働省の『厚生労働白書』、防衛省の『防衛白書』、経済産業省の『通商白書』『エネルギー白書』、総務省の『情報通信白書』など、多数発行されています。

白書は各省庁のHPで公開されていますが、『e-Gov』からまとめて確認できます。

### ●e-Gov(イーガバ)電子政府の総合窓口

政府と各省庁が発表する情報のポータルサイト。法令、白書などの刊行物、公表資料などが利用できます。



### ■ 政府統計

政府と各省庁が、政策の指針とするために収集したデータです。人口動態や賃金、生産量、物流など様々な情報が収集されています。

統計は収集した各省庁のHPで公開されていますが、『e-Stat』で横断検索ができます。利用するときは、どこがいつ収集したデータかを確認してください。

### ●e-Stat 政府統計の総合窓口



### ■ 国際統計、民間統計

諸外国や国際機関もインターネットでの情報公開が進んでいますが、各国の基本データは、データベース『ブリタニカ・オンライン・ジャパン』の『国際年鑑』から入手できます。

また、経済統計は『日経テレコン』から入手できます。民間のマーケティング会社によるデータが、本として発行される場合もあります。

## D1-Law.com(第一法規法情報総合データベース)

現行法規と法律判例文献情報が検索できるデータベースです。

### ●法律判例文献情報



検索結果には、本、雑誌、判例雑誌、新聞など様々な形態の資料が混在しています。本や雑誌が甲南大にあるかは、『いろいろでいすかばりー』で再検索してください。新聞記事は、新聞記事データベースが便利です。



### ●現行法規(現行法検索)

現行法は、『e-Gov』(無料公開)でも検索できますし、アプリなどもありますが、『D1-Law.com』では、改正履歴も確認できます。



②改正注記が表示される

本は、タイトルはそのまま、内容を一部改訂して出版されることがあります。こういった場合、以前の「版」と区別するために、「新版」や「第6版」といった、版表示が付けられます。本は使えない、ということもあるので、版表示だけでなく出版年にも注意が必要です。

### ■ 版表示

法学は全ての分野に広く関わっています。文献収集には、蔵書検索システムや、法律判例文献データベース『D1-Law.com』、本や論文の参考文献情報など様々なツールを活用することができます。本は366に、環境問題なら519にあります。

## 新聞

社会情勢を知る重要なツール。法律に関するニュースも日々掲載されています。



## 判例集

重要な法律判断がされた裁判例とその解説を集めた資料。定期的に雑誌で発行されることが多いですが、特に重要なものを集めた本もあります。

### 過去1~2年: 2階雑誌コーナー

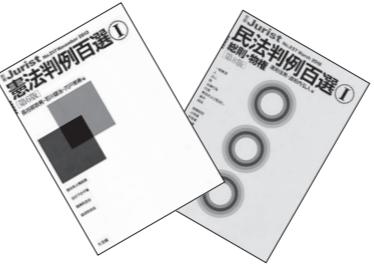
それ以前: 雑誌館(1階カウンター受付)

サイバーライブラリ雑誌コーナー

オンライン:『TKC ローライブライリー』

### 判例百選(ジュリスト別冊)

講義やゼミで最もよく使われる基本的な判例集。「憲法」や「民法」など分野別に発行されています。



## 判例雑誌

『最高裁判所判例集(民事/刑事)』や、『判例時報』『判例タイムズ』など、重要な法律判断がされた判例が掲載される雑誌。

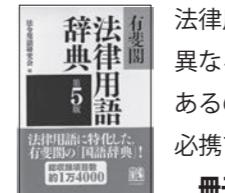


## 本

教科書から専門書まで、最も基本的なツール。一般的な法学の本は、320の棚にあります。



## 法律用語辞典



法律用語は日常の言葉とは異なる意味や、特有の使い方がるので、法律用語辞典は必携です。

冊子体: 2階参考図書コーナー

オンライン:『JapanKnowledge』

## 雑誌

学部生には『法学教室』や『法学セミナー』など、法学を学ぶ人向けの雑誌がおすすめです。他にも、『ジュリスト(Jurist)』や『法律のひろば』など実務家向けの雑誌があります。

### 過去1~2年: 2階雑誌コーナー

バックナンバー: 雑誌館(1階カウンター受付)

オンライン:『TKC ローライブライリー』



法律は成立するまでに長い時間がかかります。問題が社会に認識され、内閣や議員によって法案が作成され、国会で審議され、多数議論され、内閣や議員によって法案が支持が得られれば、法律として成立します。つまり、ある法律を理解するためには、その目的や審議の内容を知る必要があります。加えて、その法律に則って、どのように行政が行われているのか、関連する問題に対しても、裁判所がどのような決定をしたのかも必要となるでしょう。

法情報は、この過程全てに関わる情報で、常に変化し続ける情報です。情報で、常に変化し続ける情報です。法律は成立するまでに長い時間がかかります。問題が社会に認識され、内閣や議員によって法案が作成され、内閣や議員によって法案が支持が得られれば、法律として成立します。つまり、ある法律を理解するためには、その目的や審議の内容を知る必要があります。加えて、その法律に則って、どのように行政が行われているのか、関連する問題に対しても、裁判所がどのような決定をしたのかも必要となるでしょう。

## 法情報とは